広報とうやこ

発行日　令和8年5月8日
通　巻　第242号

■編集・発行　洞爺湖町総務部企画財政課広報統計係　〒049-5692 洞爺湖町栄町58番地　☎0142-74-3004
FAX0142-74-2121　ホームページアドレス　http://www.town.toyako.hokkaido.jp/　■印刷　トーヤ印刷

Spotlight
スポットライト

バレーボールクラブチーム
洞爺湖イグナイト

profile　2025年6月結成。町内外から小学生11人、中学生11人が所属。虻田体育館を拠点に活動中。現在、団員募集中。

かつては全道大会での活躍も多かった町内のバレーのクラブチームが、再び活動を始めたのは昨年6月のことでした。少子化で子どもがスポーツに親しむきっかけが減っている現在、小中学生が同じチームで力を磨き合うという新たな形を得て、洞爺湖イグナイトは始動しました。

「地域の人々や学校、友達、誰からも応援されるチームを目指そうと子どもたちには言っているんですよ」。コーチ陣の中心となる副団長の土生芳弘さんが目標とする姿は、指導を続けて50年以上積み重ねた経験から導かれました。「バレーは一人でできません。誰かのプレーの次に自分のプレーがあります」。そのために仲間を大切にしてほしい。子どもたちに投げ掛けた言葉には、そんな願いが込められています。

虻田中学校のバレー部や、少年団・エアリアルでは何度も全道大会の出場を実現しましたが、エアリアルの解散をもって部活以外のチームはゼロになりました。少子化による部活の地域移行の波もあり、町のバレーを守ろうと、洞爺湖町バレーボール協会が中心となってイグナイトの結成が実現しました。

練習は小学生、中学生に分かれて行います。小学生を引っ張るキャプテンの小田琴葉さん（6年）は、チームのために積極的に声を出します。「親友と一緒に大会に出たいです」と、伊達地区で行われる公式戦の初出場を目標に定めます。

中学生のキャプテンは斉藤未依奈さん（2年）。イグナイトの入団で始めたバレーから「仲間といるから頑張れる」ことを教わりました。「みんなが仲の良いチームにしたいです」と意気込みます。

チーム名のイグナイトには「あきらめず目標に向かって頑張る」という決意を込め、いくつかの候補の中から子どもたちが選びました。仲間を想う熱を力に、チーム一丸で戦います。

東奔西走

今号の表紙を飾った春を楽しむ会の取材中、森に響いたのは木をつつく音。天然記念物のクマゲラがいるとのことで、カメラを構えて隠れていると姿を見せてくれました。月浦の自然に野鳥撮影の楽しさを教わりました。（D.Y）

4月の人事異動で広報を担当することとなりました。町民の皆さんに親しんでもらえるような広報作りを心がけたいと思ってます。どうぞよろしくお願いします。（M.O）

町公式LINEを友だち追加！

イベントや防災など様々な情報に加え、フルカラー版広報紙もご覧いただけます！

UD FONT by MORISAWA